

「札幌市も福祉灯油を」の願いを定例市議会(2月13日開会)で実現に全力

市議会議員
市厚生委員会

実施求める市民の陳情117件が継続審議に 共産 岩村米子議員が採択を強く主張

●灯油大幅値上げ——政治の力で暮らし守れ
灯油の異常な高騰が市民の暮らしを直撃しています。こういう時こそ政治の力で暮らしを守ることが必要です。

●市議会は「福祉灯油」の陳情を直ちに採択せよ

一月二十五日、市民のみなさんからの「福祉灯油を実施せよ」との議会陳情百十七件が、厚生委員会で審議されました。陳情を提出したKさんは、「風呂を温めるお金がないから、お湯を少なくして、十日に一度しか入れない」と厳しい状況を訴えました。

日本共産党の岩村米子議員は、「一刻も早い支援が必要」と、陳情の採択を主張しましたが、民主・自民・公明・市民ネットは採決を拒否。陳情は「継続審議」になりました。

●市の積立金を使うと実施は可能

「福祉灯油」の実施に必要な市の費用は、約六億七千万円(日本共産党試算)です。札幌市には積立金(財政調整基金)が百十三億円あり、この六%で実施できます。



「福祉灯油」の実施を求める市民団体の宣伝署名行動

引き続き定例市議会での実現を目指します

日本共産党札幌市議団の取り組み

- ◎十二月五日 代表質問で「福祉灯油」実施を要求。
 - ◎ 十二日 市長に実施を申し入れ。
 - ◎ 二十六日 政府と交渉し、「半額補助」の回答引き出す。
 - ◎ 二十八日 市長に再度申し入れ。
 - ◎ 一月十六日 議長に「福祉灯油」条例を制定するための臨時議会開催を申し入れ。
 - ◎ 十八日 各会派に臨時議会開催の協力を要請。
 - ◎ 同日 幹事長会議で臨時議会招集を要求。
 - ◎ 二十四日 再び幹事長会議で臨時議会開催を要求。(民主・自民・公明・市民ネットが臨時議会招集に反対)
 - ◎ 二十五日 厚生委員会で実施(陳情の採択)を要求。
- ※二月十三日に開会の第一回定例会でも実施を求めます。



陳情の採択を主張する岩村米子議員(1月25日厚生委員会)

福祉灯油とは

低所得者や高齢者、障がい者、母子家庭などの世帯を対象に、灯油代の一部を市町村が補助する制度です。ひと冬数千円~二万円など市町村によって違いはありますが、冬場の暮らしを支える、北国ならではの心温まる制度です。

広範な市民団体が実施を求めています

広範な市民団体が、市長と市議会各会派に実施を要請し、「福祉灯油の実施を求める」陳情を市議会に提出しています。

全道の市町村が実施に動いています

全道百八十市町村のうち、百三十一市町村が実施を決めています。残りの四十九市町村でも、四十六市町村が実施にむけて検討をはじめています(二月二十四日現在)。

国が実施市町村の支援を決めました

日本共産党は、十二月二十六日に、三人の市議が上京して、紙智子参議院議員、宮内聡党国会事務所長とともに、政府と直接交渉。札幌市が「福祉灯油」を実施した場合には、国が経費の半額を補助することを約束させました。



発行 日本共産党札幌市議会議員団事務局
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
011-211-3221 FAX 011-218-5124
HP://www.jcp-sapporo.jp/
日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します